

令和6年度施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策 【分野】	子どもを産み育てやすく 豊かな学びで未来を拓くまちづくり 【子育て・教育分野】	施策	12_幼児教育・保育	所管部長 取りまとめ所属	子ども部長 子ども育成課	
施策の内容	質の高い幼児教育と、保護者が安心して子どもを預け、仕事と子育てを両立できる環境を整えるため、幼稚園、保育所、認定こども園等の受入体制や、保育を必要とする児童を対象とした児童コミュニティクラブ等の受入体制を確保します。 また、将来にわたる保育ニーズに対応するため、公立保育所の改修を行うなど、保育環境の充実を図ります。					
めざす姿	健やかな子どもの育ちを支えるため、希望する全ての子どもが、質の高い幼児教育と保育を受けられる環境ができています。 就労家庭における、就学児童の放課後の居場所として、児童コミュニティクラブ等で子どもを預けられる環境が整備されています。					
重点事業	保育士等確保対策事業					
施策構成事業	児童コミュニティクラブ事業費	地域子ども・子育て支援事業費		公立保育所運営管理費		
	病児・病後児一時保育事業費	教育・保育推進事業費		子ども・子育て支援給付費		
	子育てのための施設等利用給付費					
評価						
進捗評価	概ね順調	評価の 判断理由	保育所待機児童数は、成果指標の実績値ベースで前年比約61%と減少していますが、児童コミュニティクラブについては、委託の推進等に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えの解消や申込率の上昇により、申込児童数、待機児童数ともに以前の水準にまで増加しており、完全に順調とは判断し難い面もあります。			
施策推進上の課題・環境変化	<p>保育所等については、施設の新設等が進んだ結果、施設の定員は充足しているものと考えますが、依然として保育士の確保が課題となっています。このことは、保育士の有効求人倍率がピーク時より低下したものの、高止まりの状況であることから窺えます。</p> <p>また、将来的には、未就学児童の減少や保育所等利用率の傾向などを見極め、適切な需給バランスを維持することが課題となると考えられます。</p> <p>児童コミュニティクラブについては、「ひとりっ子」の増加や地域社会の希薄化に伴い「放課後の子どもの居場所づくり」が課題となる中で、民間の学童保育や塾、習い事など、子どもの過ごし方も多様化していますので、そうしたことを総合的に勘案しながら、柔軟に需要を満たすための施策が必要です。</p>					
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	概ね順調					
施策推進の方向性						
方向性	拡大					
総評・今後の施策推進方針	<p>保育所等については、成果指標に示す目標値の達成に向け、当面の間は、重点事業としている保育士等確保対策事業の実効性を高めるため、具体的な補助制度の見直し等を進めます。</p> <p>中・長期的な視点からは、少子化や核家族化の進展、女性の就業率などを総合的に勘案し、量と質の両面から、本市における保育ニーズの推移等を見極め、受け皿の総量コントロール（保育施設の適正配置等）と、質の向上（多様な児童の受入体制の確保等）を計画的に進める必要があります。</p> <p>児童コミュニティクラブについては、令和6年度から新たに2カ所を委託化し、直営クラブの職員の配置を増員したことから、入所児童数が増加し、待機児童数は減少していますが、目標値からは乖離がある状況です。</p> <p>引き続きアウトソーシング等の推進に取り組むことと並行して、将来的に、児童コミュニティクラブ以外の多様な「子どもの居場所」とあわせて、一体的・効率的に運用していくため、複数の施設や施策の所管部署の一元化を進めていきます。</p>					
成果指標						
成果指標名	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値
指標の定義						R 9 目標値(方向性)
保育所待機児童数	31人 (R4)	19人				0人
保育関連施設（保育所、認定こども園、小規模保育施設）における待機児童数						
児童コミュニティクラブ待機児童数	36人 (R4)	130人				0人
児童コミュニティクラブにおける待機児童数						

重点事業の取組内容			
事業名	保育士等確保対策事業		
事業内容	市内の保育所、認定こども園等で就労する保育士等を確保し、児童の受入体制を充実させることで、保育所等利用待機児童の解消を図るため、市独自の保育士等の就労に係る費用の補助を実施します。		
取組工程	項目	令和5年度	
		計画	実績
	保育士等雇用促進の補助	潜在保育士実習促進補助の開始	潜在保育士実習促進補助の開始
	保育士等の就職説明会の開催	継続実施	継続実施
	保育士等確保のための情報発信	継続実施	継続実施
令和5年度取組内容	<p>●保育士等雇用促進の補助…令和5年7月から「伊勢原市潜在保育士のための就労促進事業補助金交付要綱」に基づく補助制度の運用を開始しましたが、利用実績がありませんでした。</p> <p>●保育士等の就職説明会の開催…保育士等を目指す学生・既卒者を対象に、市内の複数の保育所並びに幼稚園・認定こども園の参加による就職説明会を開催しました。</p> <p>※実績 【保育所（7月1日開催）】…8園参加、11人来訪 【幼稚園・認定こども園（7月8日開催）】…7園参加、13人来訪 → 保育所・幼稚園あわせて3名就職</p> <p>●保育士等確保のための情報発信…「伊勢原市潜在保育士のための就労促進事業」等、本市の保育士等雇用促進施策についてホームページ等で周知しました。</p>		
重点事業以外の取組内容			
令和5年度主な取組内容	<p>●児童コミュニティクラブのアウトソーシングの推進…2小学校のコミュニティクラブについて、9月から11月にかけて公募型プロポーザルにより運営委託事業者を選定し、令和8年度までを契約期間とする運営委託契約を締結しました。その結果、令和6年4月時点において、市内の全10小学校区・12か所のクラブのうち、6小学校・8か所、約67%が委託による運営となっています（2事業者）。</p>		